

千秋だより 第141号

発行日 2026(令和8)年2月1日

発行者 千秋町連区地域づくり協議会 千秋町佐野字郷西48番地(一宮市千秋町出張所内)

電話 28-9010 Webサイト <https://138chiaki.org/>

地域づくり協議会 2025(令和7)年度を振り返って

地域づくり協議会 会長 児島 裕久

地域づくり協議会の会長として、一宮市の地域づくりの取り組みや他連区の様子を知ることができました。市が地域の活性化を図っていたり、それぞれの地域が特色(伝統)を生かして個性的な活動を続けたりしていることがよくわかりました。

千秋町では、連区行事の運営スタッフとして、町内会、地域づくり協議会、公民館、民生委員等いくつかの団体の皆さんが協力して取り組み、これまで成果を上げてきています。協力といっても、それぞれの団体を構成している人たちは、年齢も職業もいろいろで、考え方や経験も違います。今の時代、地域の活動への参加を避けようとする風潮もあり、活動を続けていくことはとても難しいです。スタッフの皆さんがこうした壁を乗り越えられたのは、これまでの経験では味わえなかった楽しさを感じているからだと思います。

私自身も、地域活動の中で感じた課題を話し合い、解決に向けたアイデアを出し合う場に参加させていただいたときには、「なるほど」と感動しました。そして、よりよく改善した行事を実施し、参加された皆さんの楽しそうな表情を見たり、「工夫したね」などの感想を耳にしたりすると幸せな気持ちになりました。

千秋町に住んでいる人たちが協力して、今後もますます生き生きと暮らせる地域となつてほしいと願います。

福祉部会(平子 昌三 老人クラブ連合会 会長)

令和7年もこのところ続く酷暑であったため、夏の行事予定を10月、11月へ変更し、実施しました。皆様のご協力有り難うございました。

三世代交流事業は、7月の「ラジオ体操」(延べ2,000名参加)に一本化し、老人会主催の研修旅行は全て予定通り実施することができました。末広大学講座は、通年にて10回開催、毎回昨年を上回る多くの方に参加していただきました。

今後も各種の行事を予定していますので、ご理解とご協力をお願いします。

高齢者支援部会(安藤 達也 民生委員・児童委員協議会 会長)

令和7年度も千秋町連区において、社会福祉協議会千秋支会主催の高齢者の方を対象とした事業が実施されました。暑さ対策もあり10月4日に「敬老会」、11月14日には「ひとり暮らし高齢者の集い」が開催され、高齢者支援部会員である民生委員・児童委員も運営に携わらせていただきました。

相変わらず高齢化が進む中、令和8年1月の一宮市全体の高齢化率は27.6%で、千秋町連区は29.1%といった状況です。高齢者の方々少しでも安心・安全に暮らしていただけるよう、今後も高齢者の方々への支援につながる活動を継続してまいります。地域の皆様には、引き続きご理解・ご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



ひとり暮らし高齢者の集い



地域学習部会(長谷川 武 連区公民館長)

今年度は、公民館事業を今後も持続的に続けられるよう、内容を見直し、三大事業の一つ「盆踊り大会」を土曜日のみの1日開催としたほか、各部の事業についてもより広い年齢層に参加いただけるよう、企画の刷新に取り組みました。5年間休止状態だった「親子ものづくり教室」などは、一宮工科高校と事業目的・効果を再協議し、復活に漕ぎつけることができました。

コロナ禍による自粛期間を乗り越えて、3年目となりました。地域に暮らす人々には、概ね活力が戻ってきていますが、従前のようなきめ細かい地域コミュニティは希薄になってきているように感じます。

地域学習部は、女性学習部と共に公民館事業を通じ、街角に笑顔が溢れ、住民が相互にいつでも助け合える、地域力豊かな千秋町連区を目指してまいります。



盆踊り大会

親子もの
づくり教室

